

## 第 4 期山形県ツキノワグマ管理計画の進捗状況について

## 1 個体数管理の実施

## (1) 目標

令和 8 年度末の生息数水準 概ね 2,000 頭

## (2) 実績

(単位：頭)

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
年度当初推定生息頭数	2,402	2,300	2,053	2,238	1,329
①春季捕獲（個体数調整）	80	71	64	49	41
②有害捕獲	578	180	247	732	199
うち、錯誤捕獲 ※1	-	-	83	136	78
③狩 猟	25	25	13	19	9
④捕 獲 計	683	276	324	800	249
⑤放獣数	2	0	1	1	1
⑥捕殺数（④－⑤）	681	276	323	799	248
捕獲水準（上限）	340	310	340	230	200
春季捕獲許可数	224	102	120	120	121
狩猟の自粛要請	-	-	-	-	-

※1 錯誤捕獲の情報収集を R 4 から開始

## (3) 今後の生息状況調査について

令和 6 年度まで、目視調査とカメラトラップを併用した生息状況調査を基に推定していたが、4～5月中旬の春季捕獲とあわせて行う目視調査において、小雪のためクマが発見しづらい等の影響などにより推定数は大きく減少し、妥当性があるとは言い難い結果となった。

この推定数の妥当性については、以前から検討委員会から指摘があり、調査方法の改善を求められていたところ。

これらを踏まえ、令和 7 年度以降の調査方法を見直すこととして、今年度より、新しい調査手法を確立するための調査を実施中。

## 2 人身被害の防止

## (1) 目標

排除地域及び防除地域における人身被害 ゼロ

## (2) 実績

年度	月	地域	場所	状況	地域区分
R6	6月	村山	西川町志津	タケノコ採り	緩衝・生息地域
	6月	村山	山形市蔵王	登山中	緩衝・生息地域
	7月	置賜	米沢市赤崩	農業作業中	排除・防除地域

	2月	庄内	鶴岡市少連寺	狩猟中	緩衝・生息地域
R7	7月	置賜	米沢市愛宕山	散歩中	緩衝・生息地域
	7月	置賜	川西町玉庭	畑見回り中	排除・防除地域
	8月	庄内	鶴岡市辻興屋	農作業中	排除・防除地域
	8月	最上	戸沢村古口	徒歩で帰宅中	排除・防除地域
	9月	庄内	酒田市下青沢	農作業中(山中の畑)	緩衝・生息地域
	10月	置賜	飯豊町椿	農作業中	排除・防除地域

ツキノワグマ月別人身被害人数

(R710.5現在)

月	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		前年比較		
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0	±0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	+1	+1
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	±0	+1
4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	±0	+1
5	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	1	±0	+1
6	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	2	2	0	1	▲2	▲1	
7	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2	1	2	1	3	2	3	+1	±0	
8	1	1	0	1	0	1	1	2	0	0	0	2	2	4	0	3	2	5	+2	+2	
9	1	2	0	1	1	2	0	2	0	0	0	2	0	4	0	0	1	6	+2	+2	
10	1	3	0	1	2	4	3	5	0	0	0	2	1	5	0	0	1				
11	1	4	0	1	0	4	0	5	0	0	0	2	0	5	0	0					
12		4	0	1	0	4	0	5	0	0	0	2	0	5	0						
計	4		0		4		5		0		2		5		3		7				

3 農作物被害の軽減

(1) 目標

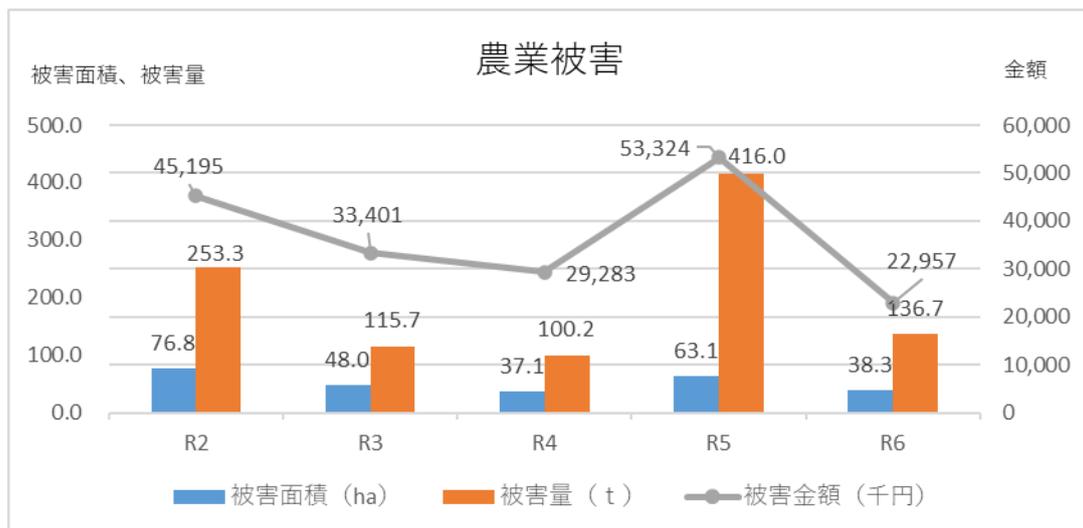
農作物被害額 29,180千円以下

地域	H29～R2の平均(基準)	目標R7(基準比75%)
村山地域	26,602千円	19,951千円
最上地域	494千円	371千円
置賜地域	10,079千円	7,559千円
庄内地域	1,732千円	1,299千円
合計	38,907千円	29,180千円

(2) 実績

地域	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	(基準比)
村山	27,531千円	26,193千円	19,157千円	35,552千円	17,650千円	(66.3%)
最上	638千円	97千円	52千円	2,224千円	536千円	(108.5%)
置賜	12,994千円	5,914千円	8,963千円	10,108千円	2,542千円	(25.2%)
庄内	4,032千円	1,197千円	1,112千円	5,440千円	2,229千円	(128.7%)
合計	45,195千円	33,401千円	29,283千円	53,324千円	22,957千円	(59.0%)

※R6は速報値



#### 4 錯誤捕獲されたツキノワグマを放獣する人材の確保

##### (1) 目標

1名より多く

##### (2) 現状

1名

(参考) 麻醉銃等購入費の補助事業 (令和5年度～)

R5 : 庄内地区 1名

R6 : 村山地区 1名

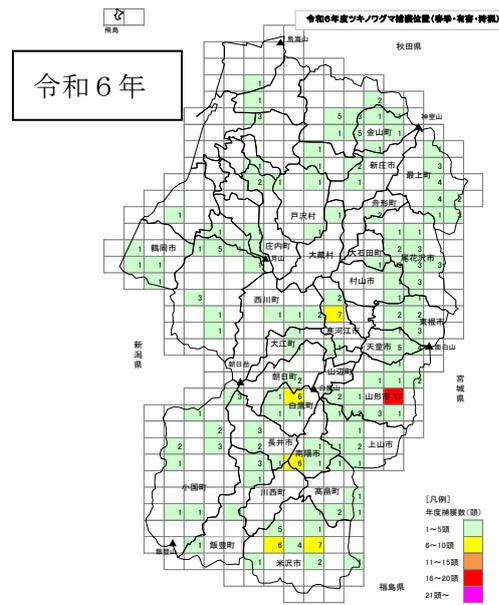
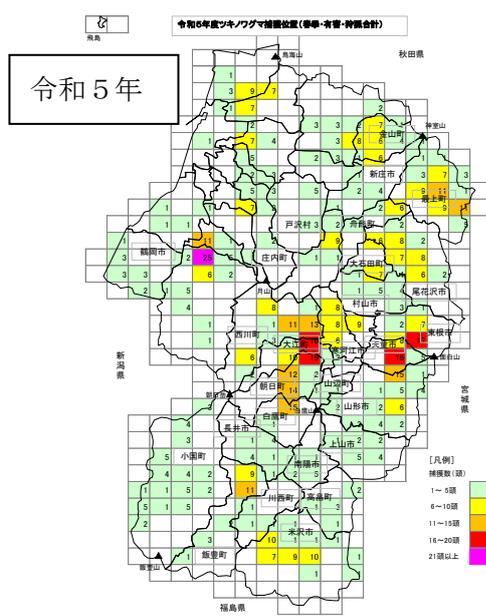
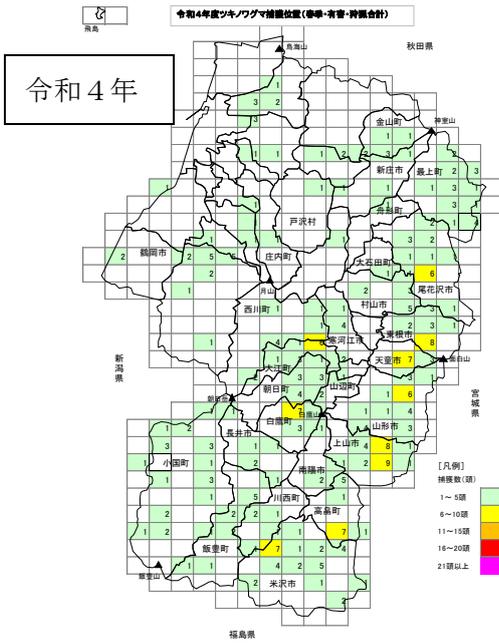
(参考) 令和7年度山形県鳥獣の保護・管理にかかる麻醉銃等使用者育成研修会を開催

##### (3) 今後の見通し

来年度、上記補助事業を活用して麻醉銃を購入した2名を加え、3名体制となる予定。



## 2 捕獲情報（春季捕獲、有害捕獲、狩猟）



ツキノワグマ月別捕獲頭数

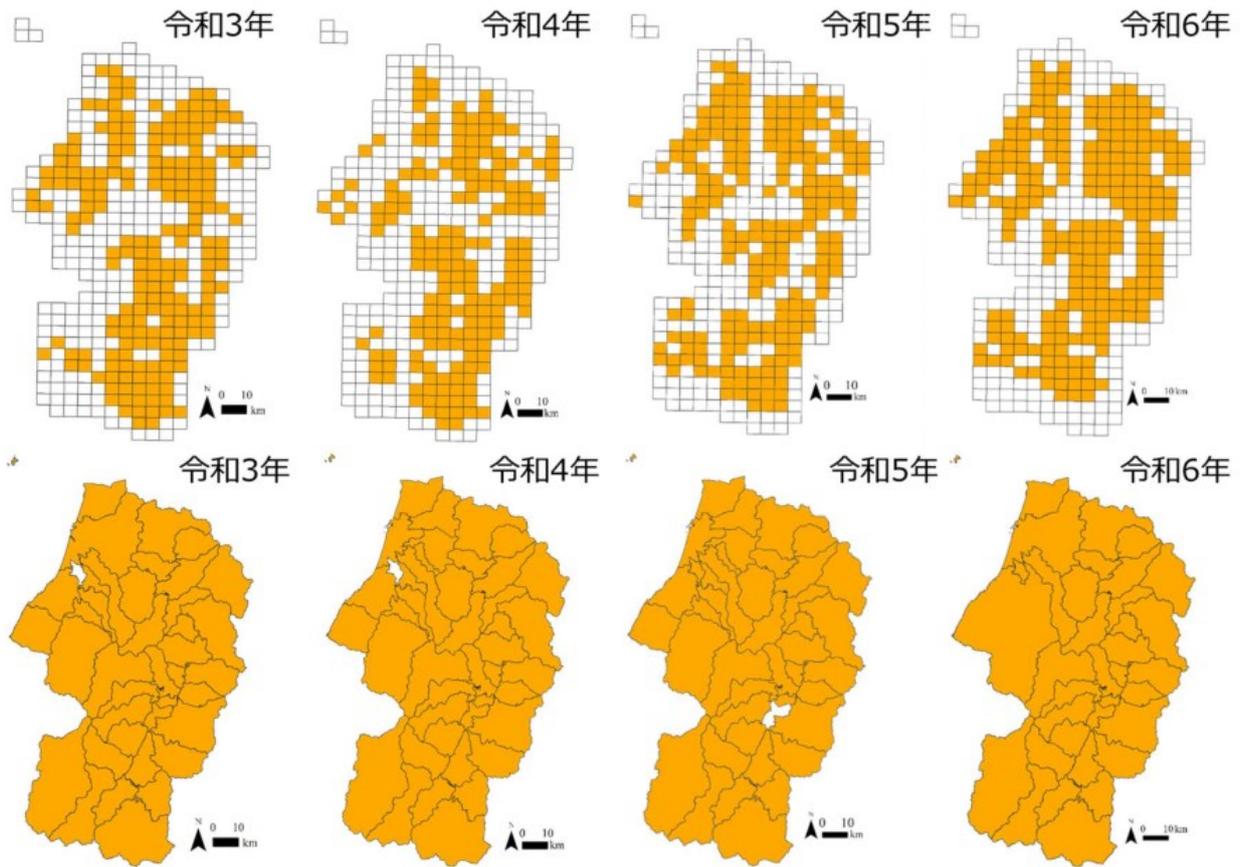
(R7.9.26現在)

月	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較										
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計											
4	100	100	88	88	63	63	66	66	64	64	58	58	46	46	40	40	39	39	▲1	▲1
5	14	114	10	98	27	90	35	101	22	86	21	79	16	62	33	73	26	65	▲7	▲8
6	8	122	22	120	24	114	25	126	35	121	44	123	37	99	43	116	71	136	+28	+20
7	20	142	30	150	65	179	44	170	51	172	59	182	77	176	45	161	101	237	+56	+76
8	61	203	39	189	70	249	94	264	38	210	81	263	100	276	58	219	168			
9	56	259	11	200	91	340	102	366	21	231	40	303	155	431	15	234				
10	17	276	5	205	40	380	182	548	13	244	5	308	229	660	1	235				
11	6	282	12	217	27	407	104	652	4	248	3	311	112	772	1	236				
12	0	282	1	218	4	411	5	657	3	251	0	311	7	779	1	237				
1	0	282	0	218		411	1	658	0	251	0	311	0	779	1	238				
2	0	282	0	218		411	0	658	0	251	0	311	1	780	1	239				
3	0	282	0	218		411	0	658	0	251	0	311	1	781	1	240				
狩猟	20	302	40	258	15	426	25	683	25	276	13	324	19	800	9	249				
計	302		258		426		683		276		324		800		249		405			

※捕獲数は放獣されたものを含むため、捕殺数ではない。

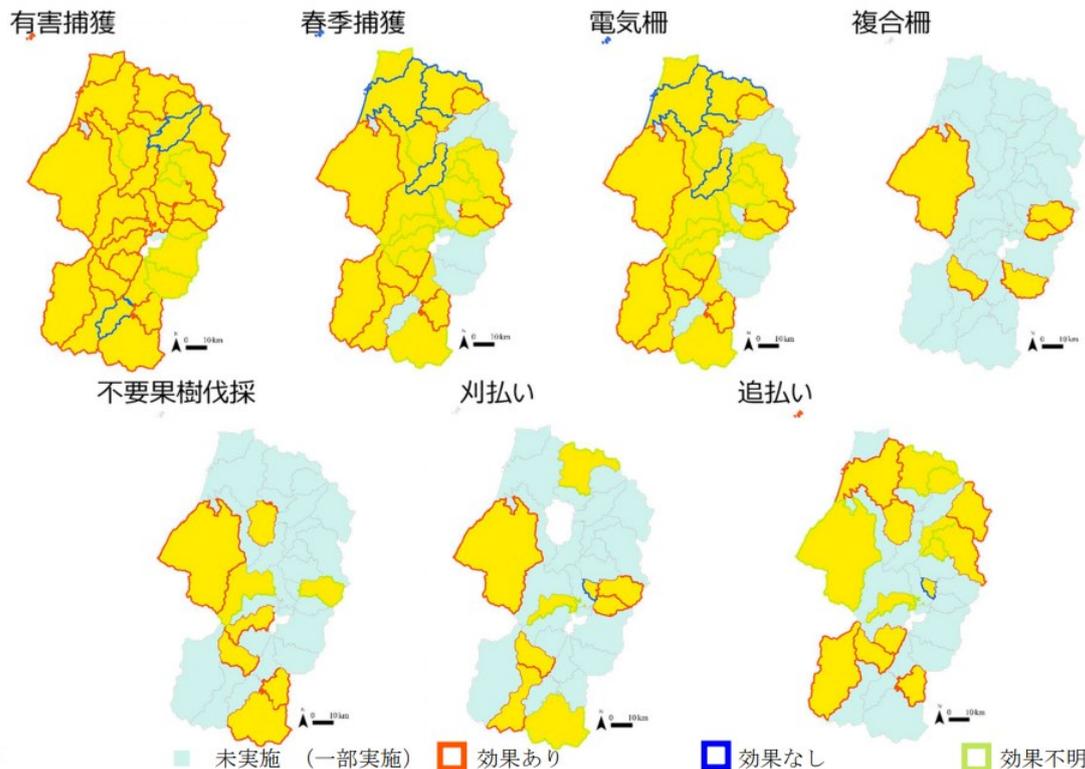
※令和7年度分は速報値

### 3 生息数推定（生息動向の変化）…令和6年度大型野生動物生息動向調査報告書から



■ 目撃あり □ 目撃なし

クマの生息動向の変化（上段：5kmメッシュ、下段：市町村別）



クマの市町村別被害対策実施状況とその効果

### 4 生息環境（豊凶調査）

# 令和7年度ブナ豊凶予測について

## 1. 目的

森林の更新や野生動物の生息に影響を与えると考えられているブナの実の豊凶を調査することにより、森林生態系への影響や異変を察知するため、ブナの豊凶調査(豊凶予測及び豊凶結果)を行っています。

## 2. ブナの豊凶予測の方法

ブナの豊凶予測は、春先にブナの雄花が落下する性質を利用して、雄花の数から雌花の数を推定し、推定した雌花の数により豊凶について判定しています。



なお、この豊凶予測は、平成27年度まで行った山形大学農学部との共同研究の成果を基に判定しています。(山形県では、およそ5月頃雄花が落下します。)

## 3. 調査方法及び調査時期

県内15カ所のブナ林の調査地にトラップ(面積約1m<sup>2</sup>の円形ネット)を設置し、落下したブナの雄花を数えます。4月末から6月に調査し、豊凶予測を行います。

## 4. ブナ雌花の推定式及びブナの豊凶予測方法

平成16年から令和5年までの豊凶調査で得られたブナ雄花数及びブナの種子数から、ブナ雌花数(種子数)を推定する式を求め、推定した雌花の数により豊凶を予測します。

◆令和7年度の雌花の推定式◆  
 推定の雌花数 = 雄花数 × 0.34654 + 32.30164

調査地番号	調査箇所	雄花数 (個/m <sup>2</sup> )	今年の推定 雌花数 (個/m <sup>2</sup> ) (A)	豊凶予測			
				(A) < 90	凶作	90 ≤ (A) < 350	並作
1	湯の台	0.0	32.3		凶作		
2	羽黒山	0.0	32.3		凶作		
3	関川	1.4	32.8		凶作		
4	沼の台	0.0	32.3		凶作		
5	西小俣	0.1	32.3		凶作		
6	与蔵峠	-	-		※		
7	鶴越峠	48.3	48.3		凶作		
8	弓張平	0.0	32.3		凶作		
9	月山自然博物館	0.0	32.3		凶作		
10	黒伏	8.8	35.4		凶作		
11	蔵王(鳥兜)	0.0	32.3		凶作		
12	駒立	0.0	32.3		凶作		
13	徳綱	0.0	32.3		凶作		

※土砂崩れのためトラップを設置できず

## ブナ豊凶予測箇所 位置図

令和7年6月25日  
 山形県環境科学センター

